生涯学習総合情報誌
オアシス通信
【'21. 3. 1 発行】vol. 303

１年が経とうとしていますが…

新型コロナウイルスに感染した人が初めて北海道で確認されてから、１年あまりが経過しました。昨年の今頃の私は「夏くらいになったら収まるんじゃない？」と考えていましたが、こんなに長期戦になるとは思ってもいませんでした。

自由に旅行をしたり、飲食店で仲間や友だちと宴会したり、マスクもせずに談笑していた日々が遠い昔のように感じてしまいます。

この１年で、学習に関する環境も大きく変化しました。その中でも特に利用頻度が高くなったのが、オンラインでの会議や研修ではないでしょうか。私も今更ですが、先日初めてオンラインでの研修会に参加をすることになりました。対面の研修会とは違い、話すタイミングを気にしてしまい、話し合いや協議をするのは難しいと感じましたが、質問などを文字で送ることができ、オンラインならではの良さも知ることができました。

今まで当たり前のようにできていたことが、できなくなるということも多くありました。その反面で、新しい手法を考えたり、制限の中で何ができるかを考えたりすることも多くなり、工夫次第でできることはまだまだたくさんあると、私自身学ぶことができた１年でした。

ワクチン接種がもうすぐ始まり、コロナを取り巻く状況がどのように変化してくるか気になるところではありますが、これからもみんなで協力し、知恵を出し合いながら乗り切っていきましょう！

（社会教育主事　鈴木　翼）